

令和6年度 岐阜県立国際たくみアカデミー活性化検討会

議事要旨

1 開催日時及び場所

令和7年2月20日（木）14時00分～15時30分
国際たくみアカデミー短大校 会議室

2 出席委員

羽山泰秀座長、飯田佳弘委員、山内京子委員、渡辺善典委員、石黒時紀委員、荒川晶一委員、梅本満郎委員、加藤正光委員、堀秀樹委員、林博行委員、西村康志委員

3 事務局

商工労働部次長、労働雇用課長、国際たくみアカデミー校長

4 会議の概要

あいさつ、資料説明、意見交換

5 主な意見等

○令和6年度の実績と各科の課題及び進捗状況について

- ・ SNS の広報について、アンバサダー（専門の宣伝大使）へお願いを行い、インフルエンサー（発言力の強い方）への活用を行ってはどうか。
- ・ 外国人留学生を募集のターゲットにしないと、日本の建築物や土木の工事が、できない状態となっている。

○国際たくみアカデミーの課題について

1. 学生生徒募集について

- ・ 何とかこの地域で、地場産業、ものづくりの魅力を発信する取組みを県全体で行い、たくみアカデミーは、成長産業を充実させるスキーム作り、県と一緒に業界として頑張らせていただきたい。
- ・ 学校案内パンフレット見直しについて、ものづくり業界は、危ないきついイメージで敬遠される。それを払拭し、魅力を伝える必要がある。
- ・ 学校案内パンフレット以外にも、若い方や小学生が、段階的に興味持つ企画等を作成するといい。関心の啓発活動を行うといい。
- ・ ものづくりの楽しさが伝わるように広報が必要。
- ・ 女性へのアプローチが必要ではないか。

2. 就職支援相談員の確保について

- ・ 県で配置の検討をする。
- ・ 相談窓口で、専門の就職相談員の方に相談しやすい環境ができる。指導員の指導とその窓口が増えることでプラスの方向性を感じる。
- ・ 社会適応とか含め、指導員だけでなく、支援担当する就職相談員が必要である。

3. 指導員の定員確保について

- ・ 職業訓練指導員の確保することし、余裕を持った体制の構築が必要。
- ・ 指導員の職種関係について、ミスマッチの無いように調査して採用をしないといけない。
- ・ 指導員の定年を延長してはどうか。
- ・ 支援するための質の向上と従来の専門技術のスキルを磨くためには、当然、指導員の定員に余裕がないとできない。

4. 設備システム科と住宅建築科の定員の変更について

(変更後)

(変更後)

(設備システム科10名 ⇒ 15名、住宅建築科20名 ⇒ 15名への変更)

- ・ 住宅建築科の定員は、休日等の社会情勢の変化や求人の関係から、削減もやむを得ない。
- ・ 建築総合学科(設備システム科+住宅建築科)を構築するのは難しいか。
- ・ 設備の業界としては、定員が増えてもバックアップをするつもりである。